

NO	書名	巻次/副書名	著者名	出版年	出版社	内容	現在場所	請求記号	備考
18	ふくしまの子どもたち	東日本大震災・福島 島の10年 小・中学生 生文集	ゆめ・ざぶん賞福島 実行委員会:編	2021.5	遊行社	津波、その後に起こった原発事故。経験したことのない恐怖 と衝撃を抱いて見知らぬ土地で過ごしたあの日。そしていつ か辿りついたふるさとへの希望…。小学生60作品、中学生 85作品から見えてくるふくしまの子どもたち。	郷土資料	908 7	複本あり
17	ほんとうの空の下で		ノグチ クミコ:著	2017.1	NOGUCHI PRESS	60代の時に終の住処として東京から福島県浪江町に移り住 んだ川本さん。終戦直後に近所に住んでいた作家の山本有 三氏に譲り受けた幻灯機で、子供たちへ幻灯会を開いたり、 愛犬シマとほぼ自給自足の里山暮らしをしていました。 そんなとき東日本大震災により生活が一変。避難生活と なった川本さんの愛犬シマへの想い、幻灯機への想い、周 りの人たちと助け・助けられながらの生活。そんな一人と一 匹の人生を絵だけで表現した文字のない絵本。	一般・芸 術	726 /	
16	ぼくらの祖国		青山 繁晴 // 著	2015.8	扶桑社	日本人は、日本を祖国として考えたこと、はっきり祖国として 意識したことが、どれほどあるのだろうか。東日本大震災と 福島原子力災害が起きてしまった後の日本で、今それを問 い直す。	一般・社 会	304 7	
15	東北のすごい生産者に会いに 行く		奥田 政行 // 著	2015.2	柴田書店	東日本大震災被災地の支援に取り組むイタリア料理店の シェフと、全国を旅するカーちゃんライターが、震災を乗り越 え、農作物や海産物で東北を元気にしようと奮闘する生 産者たちを訪ねる。座談会、ルポも収録。	一般・産 業	612 オ	
14	ここは花の島	This place…An island of flowers	野口 勝宏:写真・文	2013.7	IBCパブリッ シング	新しい夢をみる 夢が消えたら また次の新しい夢をみる-。 東日本大震災から被災地・福島で願いを込めて撮り続けら れた花の写真と瑞々しい詩のコラボレーション作品集。ウェ ブサイト、Facebookの連載を書籍化。	一般・芸 術	748 /	
13	天災から日本史を読みなおす	先人に学ぶ防災	磯田 道史 // 著	2014.1	中央公論新 社	大地震、噴火、台風…。史料に残された災いの記録をひもと くと、もう一つの日本史が見えてくる。東日本大震災後に津 波常襲地に移住した著者が、災害から命を守る先人の知恵 を伝える。『朝日新聞』連載を書籍化。	一般・歴 史	210 イ	
12	ブルーシート		飴屋 法水 // 著	2014.4	白水社	東日本大震災に見舞われた10人の高校生たちが生存確認 の声を反響させてゆく。第58回岸田國士戯曲賞を受賞した 表題作と、ポストドラマ時代のドキュメンタリー児童劇「教室」 を収録した戯曲集。	一般・日 文	912 7	
11	菩薩行	第二号	法華宗菩薩行研究 所	2013.4	法華宗宗務 院	東日本大震災から二年を経た今、体験話、座談会、寄稿、 災害対応などをまとめたもの。	一般・哲 学	188 ホ	

10	いちばん伝えたい「ありがとう」	全国の子どもたちがつづった111通の手紙	「ありがとうの手紙コンテスト」事務局 // 編	2013.6	小学館	両親への「ありがとう」、自分たちが生きている自然界へのお礼、東日本大震災の思い、身の回りのさまざまな人への感謝…。小学生を対象とした「ありがとうの手紙コンテスト」2009～2012年度受賞作品を中心に収録。	一般・言語	816 イ	
9	我を超えること	近代理性主義の克服	赤堀 芳和: 著	2012.8	講談社ビジネスパートナーズ	西洋文明の負の部分教え、日本の良さを大切にするように忠告した小泉八雲。八雲や漱石の思想を取り上げ、科学技術万能主義に疑問を投げかける。東日本大震災を契機に日本が原点に戻るための提言の書。	一般・社会	304 ア	
8	みゆきの生きがい講話集	第5集/～東日本大震災・原発事故を乗り越えるための活動源として～	紺野 幸: 著	2012.1	紺野 幸		書庫	379 コ	
7	日本列島再生論		読売新聞「列島再生」取材班 // 著	2013.1	中央公論新社	二項対立を超えた発想の転換で、日本の眠れる潜在力を呼び覚ませ! 東日本大震災からの復旧・復興を中心に据え、日本全土に共通する課題にどう取り組むべきなのか、その具体例やヒントを提示する。『読売新聞』連載を再構成。	一般・産業	601 ニ	
6	3・11から考える「家族」	戦後を問う、現在を歩く	真鍋 弘樹 // 著	2012.4	岩波書店	震災直後の避難所の風景と首都圏で相次ぐ孤独死のつながりとは? ジャーナリストの著者が、東日本大震災の被災地と都市圏、そして現在と戦後を往復する取材から、日本の家族のありのままの姿と、これからの可能性を描く。	書庫	367 マ	
5	みあげればがれきの上にこいのぼり…	まげねっちゃん! 女川一中生	山中 勉 // 編著	2012.3	日本宇宙フォーラム	コトバをDVDディスクに収録して国際宇宙ステーション「きぼう」に打ち上げる「地球人の心ふるじえくと」から生まれた本。東日本大震災を経験した宮城県女川第一中学校の生徒たちが綴った五七五の一行詩等を収録。	一般・日文	911 ミ	
4	幸せを導く未来の暦		松原 照子 // 著	2011.1	宝島社	東日本大震災を予知した著者による新たな世見を紹介。これからの自然界、地球と宇宙、世界の情勢などの未来の出来事のほか、坂本龍馬暗殺の真相や被災地を訪れた手記も収録。	書庫	147 マ	
3	絵手紙励ましのことば集	支え合う心をつなぐ	大森 節子 // 編	2011.7	日貿出版社	1日も早い復興を! 東日本大震災の被災者を思う、近畿・四国・中国地方の多くの人々の絵手紙から、心を打つ励みや思いやりのことばを厳選して収録。絵手紙に込められた元気のエールをお届けします。	一般・芸術	724 エ	

2	自衛隊災害派遣装備パーフェクトガイド			2011.5	イカロス出版	災害派遣に挑む自衛隊装備品を徹底大研究! 東日本大震災の最前線レポート&派遣態勢解説を掲載するほか、注目の災害派遣装備10選、災害派遣装備の使い方、組織別自衛隊災害派遣装備カタログなども収録する。	書庫	392 ｼﾞ	
1	『東日本大震災福島県復興ライブラリー』ブックガイド記念号	福島県立図書館		2021.3	福島県立図書館	平成23年3月に発生した東日本大震災に関連する資料をあつめた、福島県立図書館の「東日本大震災福島県復興ライブラリー」。2012年2月から2020年3月までに発行された、東日本大震災福島県復興ライブラリーブックガイドをまとめたもの。巻末に索引あり。	郷土資料	19 ﾌ	